

ゆりはま 議会だより

Vol. 85

令和7年7月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



歴史に学び、さらなる飛躍を… 2
町民の声を的確に …… 5
民間こども園に討論 … 9
下水管の腐食が進行 … 10
田後に民間こども園 …… 12
町民インタビュー …… 20
～東郷湖一周コースの魅力を
ランナーの目線で伝えたい～

「田植え
みんなでがんばったよ」
(まつぎきこども園)

3月
定例会

うれ 憂えず、おそ 懼れず



令和7年4月27日に町議会議員選挙が行われ、5月2日に臨時会を開き、新体制が決定しました。（新たな議会構成は4ページに掲載しています。）



議長
いそえ きみひろ
磯江 公博

歴史に学び、さらなる飛躍を

議長を拝命し、身の引き締まる思いです。

新しく当選された4名の議員とともに、議会と執行部との連携を密にし、二代表制の本質を念頭に、時には執行部と激論をしつつも、町民福祉の向上・町政発展に貢献できるように、しっかりと政策を提言・議論し

てまいります。

湯梨浜町が合併して20年が経過し、この間の先人の思いや、知恵、思想、経験、さらには旧3町村の歴史に学び、次世代の新しい物事や現実の課題に対し、議会の役割や機能を高め、町民の皆様の期待にこたえていきたいと考えております。

まど 議員全員で惑わず、



副議長
おかわ
小川

ゆう
遊

町民に開かれ、信頼される議会をめざして

このたび、副議長を拝命いたしました。重責を感じるとともに、町民の皆さまの声を、より丁寧を受けとめる議会運営に努めてまいります。

変化の大きい時代のなかで、私たち議会も、柔軟に、そして誠実に課題に向き合っていくこ

とが求められています。

「町民に信頼される議会」となるよう、他の議員とも力を合わせ、対話と熟議を大切にしてまいります。

今後ともご指導・ご支援のほど、よろしくお願いたします。



委員会構成

総務産業常任委員会 (6人)

委員長 松岡 昭博
副委員長 南 克憲
委員 小川 遊
河田 洋一
増井 久美
三谷 侑生



<総務産業常任委員会の仕事>

総務課、まちづくり企画課、出納室、町民生活課(税務関係)、産業振興課、建設水道課、デジタル・みらい戦略課、国民宿舎に関すること

教育民生常任委員会 (6人)

委員長 米田 強美
副委員長 小泉かさね
委員 光井 哲治
森 哲也
浜中 武仁
磯江 公博



<教育民生常任委員会の仕事>

町民生活課(税務関係を除く)、子育て支援課、健康推進課、福祉課、教育委員会に関すること

議会広報常任委員会 (11人)

委員長 浜中 武仁
副委員長 森 哲也
委員 光井 哲治 小川 遊
河田 洋一 増井 久美
小泉かさね 米田 強美
南 克憲 三谷 侑生
松岡 昭博



<議会広報常任委員会の仕事>

議会だよりの編集、広報の実施に関すること

議会運営委員会 (5人)

委員長 河田 洋一
副委員長 三谷 侑生
委員 松岡 昭博
米田 強美
浜中 武仁



<議会運営委員会の仕事>

議会運営全般について協議し、意見調整をはかる

オブザーバーとして
磯江公博議長、小川遊副議長

- ◆議会選出監査委員 光井 哲治
- ◆鳥取中部ふるさと広域連合議会 議員 磯江 公博 議員 小川 遊
- ◆鳥取県後期高齢者医療広域連合議会 議員 磯江 公博

公平・公正かつスピード感を持って

令和7年度予算特別委員会で、新年度の予算を審査しました。令和7年度一般会計予算は、前年度比3億円減の113億7千万円となりました。こちらでは議会の中で質問された内容の一部を紹介いたします。



親子で楽しく（麒麟公園）



松岡 昭博
予算特別委員長

町民の声を的確に

予算審査に当たっては、事業が町民の求めている方向で、効果が発揮されるものになっているのか審査を行い、原案どおり可決すべきと決した。

審査過程で、集落支援事業、防災訓練事業、保育所・こども園整備事業補助金など30事業について、指摘、要望、進言事項が出された。

予算執行に当たっては、事業を絶えず精査され、町民の声を的確に把握し、公平・公正かつスピード感を持って、施策に取り組むことを強く要望する。

令和7年度一般会計予算への総括質疑

問 物価高騰で町民が苦しみ中、水道・下水道料金の大幅な改定を避けるためにも、一般会計から繰り出しをするべきではないか。

答 町の責務として、町民の生活に必要な部分を支援するという考えはよく分かる。総合的に勘案して対応したい。



光井 哲治議員

予算の詳細は「広報ゆりはま5月号」をご覧ください。



専門家のアドバイスで、 町の魅力アップを

495万円

議員の視点

国の地域人材ネットに登録されている外部専門家を招へいし指導助言を受け、町独自の魅力を推進する。

地域活性化に向けた先進的な事業とはどういったものか。

答 グラウンド・ゴルフの国際化、湯梨浜Well-being、温泉の魅力アップなどの事業にアドバイスをいただく。



浜中 武仁議員



米田 強美議員

具体的な指導の受け方は。

答 10回程度の訪問指導とリモートでの補足指導を受ける。発想だけでなく、実行体制の組み方や資金の調達方法など、専門的なアドバイスを期待している。

集落の自主的 な活動をサポート

3959万円

集落への伴走型支援により地域活性化・住みよい町づくりを推進する。

議会からはソフト面への対応や町民への周知強化などについて進言した。



国際大会で交流を深める
(潮風の丘とまり)

防災講演会を開催

96万円

大規模地震や土砂災害、豪雨に備えた総合防災訓練を実施し、災害に強い町を構築する。

トイレ立替に疑問

374万円

議員の視点

湯梨浜町旭地内に位置する東郷湖畔公園について、公衆トイレ建替を行うため、その設計業務を行う。

予算を効果的に使うという視点で、すぐ近くの水明荘など、徒歩圏内にあるトイレを使ってもらおう考えはないか。

答 付近には多目的トイレがない場所もあるため、湖畔公園のトイレは残していくべきだと考えている。



小川 遊議員

民間こども園の整備費を補助

2億8610万円

議員の視点

羽合地域に民間事業者が計画している認定こども園の新設整備費を補助する。

この民間こども園では料金を支払うことで様々な教育が受けられるが、教育面や金銭面で格差が生まれるのではないか。

答 選択の自由という面もあり、保護者がこども園を選択する上での選択肢のひとつとして考えている。



増井 久美議員

保育士不足対策の具体的な取り組みは。



光井 哲治議員

答 保育士不足の解消をめざして、業務改善など、保育士の負担軽減に努めるとともに、保育士確保のための活動を行っている。



地域の人でにぎわう「とまりの食堂」
(中央公民館泊分館)

こども食堂を支援

50万円

困難を抱える子どもたちに対して、地域の様々な場所で食事などの提供を行う地域こども食堂を運営している団体に一部助成を行う。

問 町内で、地域こども食堂を運営している団体はどのくらいあるのか。

答 泊と東郷に1団体ずつあり、国補助金を使って補助する。羽合地域でも実施されれば補助したい。

ハワイアロハホールに遊び場を

1億3639万円

議員の視点

老朽化に伴い、施設の改修を行う。また、令和8年度にハワイ郡との姉妹都市提携が30周年を迎えるにあたっての、記念スポットを作るためのデザイン委託費も計上。

子育て世代の住民から、屋内で雨の日や真夏・真冬でも遊べる場所を望む声が多い。フォトスポットとしての用途ではなく、遊び場として使えるものにするつもりはないか。

答 アロハホールは多目的広場も含めて貸館となっているため、遊具などの設置は難しい。



小川 遊議員

令和7年3月 定例会

令和7年3月定例会は、3月4日から18日まで開催されました。

今定例会に提案された令和7年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された41議案すべて、原案のとおり可決しました。

また、議員発議により、国に提出する意見書2件を原案のとおり可決しました。

補正予算

好調なふるさと納税

・ふるさと湯梨浜応援基金事業
1千422万円

町特産品のPRや町各種事業の財源として、ふるさと納税寄

附金の増加を図るため、「ふるなび」などの専門サイトの効果的な運営により寄附の受付を推進するもの。

令和6年度予算では12月及び1月議会で増額補正を行ったが、その後も寄附金が順調に伸びているため、返礼品購入などに係る諸経費を増額する。

果樹カメムシ被害へ支援

・園芸施設等復旧対策事業
195万円



ふるさと納税の返礼品として人気
(町特産品の岩牡蠣)

令和6年に大量発生した果樹カメムシ類による梨・柿などへの被害をふまえ、網かけ施設の整備及び高機能な多目的防災網への更新を支援する。

路線バス運行を維持

・地方路線バス維持事業

584万円

燃料費、人件費の上昇、利用者見込み数の減少により、路線バス運行に係る赤字額が年度当



運行維持が望まれる路線バス

初見込みより増加したため、運行事業者を支払う補助金を増額する。

条例

湯梨浜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、湯梨浜水道事業給水条例の一部を改正する条例ほか9件の条例を可決しました。

財産区管理委員の選任に同意

舎人財産区管理委員の辞職に伴い、新たな管理委員の選任について同意した。(敬称略)

○住所：湯梨浜町大字漆原

○氏名：福原 廣司

○任期：令和10年12月26日まで

その他

本会議での採決結果

3月定例会

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	米田	濱中	光井	寺地	増井	信原	松岡	小川	磯江	結果
議案第2号 令和7年度湯梨浜町一般会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	賛成7人 可決

※議案の採決は、河田議長を除く9人で行いました。

※上記以外の40議案は、全会一致で可決及び同意しました。

当初予算討論

民間こども園への建設補助について、討論がありました。

反対 増井 久美

新設予定の民間こども園は単に子どもを預かるだけでなく、料金を支払えば特別な学習もできる園となる予定。そうなった場合に、公立のこども園と民間のこども園で、子どもたちの成長過程において差が出るのではないかと危惧している。保育士不足の根源は何なのか、もっと深く掘り下げ追求しなければ、問題解決に至らない。

賛成 光井 哲治

公立こども園と民間こども園での教育の差の問題については執行部も認識を持っているが、保育士不足の問題から今回の予算提案に至ったのだらうと思う。今後の課題として、解決に向けてどのように取り組んでいくのか執行部も注視してもらいたい。

また、保育士不足の問題には執行部でプロジェクトチームが作られており、現在も保育士不足の改善に向けて十分に取り組んでいる。

陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果
議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	伊藤 豪	採 択
ガソリン税の暫定税率の可及的速やかな廃止など、ガソリン高対策の実施を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	採 択
操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書について（陳情）	足羽 佑太	採 択
臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	継続審査
市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	伊藤 豪	継続審査
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	継続審査
国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	継続審査

2月25日と3月11日に開催した総務産業常任委員会で、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果など詳細について質疑を行いました。その主なものを掲載します。

下水管の腐食が進行か

☆野花の道路陥没後の対策として、1月中旬から鋼矢板を用いた土留工事と、管底までの掘削を行い、破損部分の切断及びコンクリートによる補強を行った。

現在、埋め戻し作業を行っており、他の破損は確認されていない。仮設ポンプなどは撤去し、正常な汚水流入を行っている。

舗装復旧についても、可能な限り早期復旧をめざしている。管更生など今後の復旧対応も検討していく。

問 管の破損原因は。

答 硫化水素の影響により腐食が進行した。

答 しっかりとした調査を行い、抜本的な対策を検討する。

問 その他の管渠に関してはどうか。

ハワイアロハホール 8月1日利用再開予定

☆現在、ハワイアロハホールでは大ホール天井の耐震化、照明器具のLED化、空調・音響施設の脱着、火災報知器の更新を行っている。

問 工期はいつまでか。



毎年開催されるハワイアンフェスティバル

答 7月15日まで。工事は予定どおり進んでおり、8月には利用が再開できる予定。

問 広報・周知活動はどうしているのか。

答 ホームページや昨年の町報11月号、12月の区長会で知らせている。

進捗状況については、今年1月から、毎月ホームページで情報を発信している。

県の指導により 追加検査

☆龍鳳閣、ハワイゆくたうんにおけるレジオネラ菌検査費用及び燃料費、電気代の上昇による増額補正を行う。

問 レジオネラ菌検査の県指導とは。

答 他県でのレジオネラ症発生が問題となり追加検査



追加検査が行われる温泉施設

検査を求められていたが、実施していなかったため、追加検査をするよう指導があったもの。

問 県から指導があったのに、なぜ対応しなかったのか。

答 追加検査の実施を失念しており、通常の検査費用で予算要求してしまった。今後は気をつけたい。



急ピッチで進む梨の袋かけ作業

梨の生産拡大へ

大きな期待

☆令和5年度から7年度までを工期とする今瀧梨生産団地造成事業では、11名が入植し、品種構成は二十世紀梨103アール、新甘泉123アール、王秋24アールの計250アールの梨団地が造成される予定である。

問 令和7年度事業の内容は。

答 暗渠排水設備工事、かんがい施設整備、苗の定植、果樹棚の整備、防風網・防霜施設の設置を計画している。

問 造成工事が遅れている理由は。

答 造成工事は、基盤土、表層土の土不足により工期がずれ込んだが、令和7年6月末には完成する予定である。

浸水対策にブレーキ

☆本町の下水道事業は、令和4年度から地方公営企業として運営されたため、契約や財産の管理について議会の議決が不要になった。

新町川雨水ポンプ場建設工事の機械・電気設備工事は※JV方式で進めていたが、入札応募が1者のみであったため入札を中止した。

※JV方式

複数の建設企業が、一つの工事を受注、施工することを目的として形成する組織のこと。

問 地方公営企業における契約について、議会の議決を得なくてもできるということだが、議会が対応できなくなる懸念がある。

答 議会の議決は必要としないが、従前どおり丁寧に経過や結果についての説明を行っていく。

問 新町川雨水ポンプ場建設工事の機械・電気設備工事の入札について、今後どうしていくのか。

答 機械施設と電気設備を分けて再入札を行うなど、今後指名審査委員会で検討する。

町営住宅使用料 誤徴収

☆町営住宅使用料の算定に誤りがあり、一部の入居者から過剰に使用料が徴収されていることが判明した。調査は過去10年間（平成26年度まで）にわたって行われ、3世帯で合計22万9千600円の過大徴収が確認された。後日、対象者に謝罪し、返金した。

問 国からの使用料算定に係る注意喚起通知は、令和6年6月28日付で出されている。その後調査が行われたと思うが、いつの時点で誤りを把握したのか。

答 県からも通知が来たが、当初は申込者や世帯主を中心に控除を考えていた。2月に入り、令和7年度の使用料の算定を行う際、算定誤りが判明した。

2月13日、27日、3月10日に開催した教育民生常任委員会で、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果など詳細について質疑を行いました。その主なものを掲載します。

羽合地域に民間こども園 令和8年に開園予定

☆民間事業者により計画されている、田後地域へのこども園設置について報告を受けた。

開園予定は令和8年4月で、施設規模定員は153人だが、開園時の定員は80人。総事業費は、5億3千750万円、このうち、約9千500万円を町からの補助金として支出する。

問 町からの補助金、約9千500万円の根拠は。

源確保を研究している。

答

国から出される補助金の半分の額を町も負担するという制度に基づくもの。

問

現在のこども園で、受け入れが可能ではないか。

答

利用定員は満たしているが、保育士不足により受け入れが困難なため、新設による分散を図るもの。

問

町からの補助金の財源は。

問

なぜ羽合地域に新設されるのか。

答

自己財源となるが、交付金などの財

答

住宅密集地域であることなどを踏まえ、事業者が判断された。

ひきこもりなどを 重層的に支援

☆参加支援事業、*アウトリーチ支援事業など令和6年度の重層的支援体制整備事業の実施状況と、令和7年度の実施策について説明を受けた。



民間こども園の建設予定地（田後）

問

※アウトリーチ支援事業 課題を抱えながらも必要な支援が届いていない人を把握し、必要な支援につなげる事業。

問

本人に困り感がなく支援を受けていない人は、どんな状況で生活をしているのか。滞納などはないか。

答

単発のアルバイトや遺産頼りなど、いろいろな

問

ひきこもりの定義は。

答

国のガイドラインには原則6か月以上にわたって家庭にとどまっている人とあるが、その他にも様々なパターンがある。まずは家族の支援から始めることが大切である。

問

ひきこもりの対象者を、どういう形で把握しているのか。

答

過去には、県が民生委員に依頼して調査したが、なかなか情報がつかみづらい。

問

非常に心配に感じる世帯がある。どこに情報を伝えたらよいのか。

答

対応が難しいと思うが、役場福祉課内の「ほっとてらす」まで一報いたりたい。

自由診療への助成で、 がんの早期発見

☆通常の健診で異常がなかった町民を対象に、大腸内視鏡検査、胸部CT検査に係る費用を助成し、大腸がんと肺がんの早期発見に取り組む。

財源は企業版ふるさと納税を活用する。令和7年度は150万円の寄附を想定し、20名程度の受診を見込む。

問 精密検査を進めることで、本当に医療費の抑制につながるのか。

康教室なども継続していく。

答 早期発見・治療により高額な治療を避けることができるため、医療費の抑制につながると思われる。

問 健康づくりや生活習慣病対策などのほうが、将来の医療費抑制につながると思うが。

答 従来からやっている受診勧奨や精密検査の促し、健康講演会や健



日頃からの健康管理で健康寿命の延伸を
(総合相談センターどれみ)

答 寄附が集まらなかった場合は、町費で補填するのか。

問 町費での補填は予定しておらず、寄附がなければ実施しない方針。

ゆりはまヘルシーくらぶで、医療・介護の抑制を

☆自治体連携SIBヘルスケアプロジェクト開始から5年が経過した。

医療費、介護給付費抑制効果分析についての説明があった。連携4自治体のデータがそろっているからであり、今回の報告は湯梨浜町単独の中間分析である。事業への参加で抑制効果の可能性が示された。

問 中間報告の医療費と介護給付費の分析結果は。

答 分析対象者数が少ないが、事業への参加者群は非参加者群と比較して、医療費では一人当たり10万8千円減少、介護給付費では増加の幅が小さくなり、抑制効果の可能性が示された。

問 分析対象者が少ないため、適正な効果判断は難しいのではないかと。

答 4月以降に4自治体合計の分析結果が出る予定。その結果により抑制効果を判断できるのではないかと考えている。

放課後児童クラブ 委託先決定

☆2者応募によりプロポーザル審査を行い、委託先は引き続きシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に決定した。委託金額は3年間で2億700万円となる。

問 審査の評価基準は。

答 事業者の適正、事業内容、安全対策など17項目を審査委員が評価し、総合評価点で決定した。

問 委託事業者に、改善する点があれば速やかに伝えてほしい。

答 業者任せにせず、今後も密に連携していく。

町政をただす



3月定例会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。
一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
小川 遊	企業の「賃上げ」を進めるために「資金繰り」の視点からの取り組みを	15
寺地 章行	地方創生2.0への取り組みは	15
松岡 昭博	シジミ漁業の再生に向けて	16
	温泉宿泊客17万人の達成に向けて	
米田 強美	地域コミュニティの醸成を	17
	危険空き家の対策は	
信原 和裕	米の生産・販売体制は	18
	昇降リフトの使用をもっと便利に	
増井 久美	給食費の無償化を	19
	介護保険料などの引き下げを	

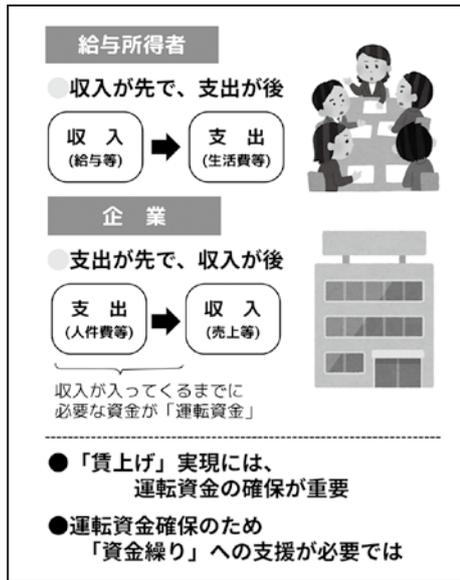
企業の「賃上げ」を進めるために 「資金繰り」の視点からの取り組みを



おがわ ゆう
小川 遊

町長

関係機関と連携し、支援策の活用を図りたい



支出・収入のイメージ図

【小川】近年、政府は物価高対策として企業の賃上げを促しているが、企業経営では資金繰りの課題がある。

売上が入る前に人件費などを支払うという企業の仕組み上、資金ショートは倒産の主因となるため、賃上げの実施には資金確保が重要。

【町長】資金繰りの課題として、物価高騰や人件費の増加により運転資金が不足するなどの点がある。賃上げを円滑に進めるためには、資金繰り計画の見直しや国・自治体からの助成金などの活用も重要となる。

賃上げは重要な施策だが、事業者の資金繰りの実態を考慮すると、実施は容易ではないと考えている。

【小川】賃上げ後に助成する取り組みだけでなく、資金繰りの視点から、運転資金を確保しやすい融資制度などの支援が必要である。町としての考え方は。

【町長】商工会などの関係機関とも連携し、国や県などで行われている支援策の活用を図り、企業の賃上げ実施につなげていきたい。

地方創生2.0への取り組みは



てらじ のりゆき
寺地 章行

町長

未来に残るようなものをつかっていきたい

【寺地】昨年11月に第2次石破内閣が誕生し、本年1月24日には通常国会の施政方針演説で「国づくりの基本軸」「地方創生2.0」「令和の日本列島改造」など、政府の基本方針が示された。

まち・ひと・しごと地方創生法の制定から10年が経過した。本町における地方創生への取り組みや現状、効果はどのように評価しているのか。

【町長】地方創生の10年間の取り組みでは、若者・女性の地方離れが進行している一方で、インバウンドの増加や、デジタル技術の進化など好材



町特産品の二十世紀梨

【寺地】今後政府が掲げる地方創生2.0への取り組みをどのような方針で進めていくのか。

【町長】湯梨浜町は観光と農業の町として知られ、町の象徴としてよく紹介してきた。これらを合わせた、未来に残るようなものをつくってきたい。

【寺地】地方創生は国が費用の半分を負担し、地域が自らの資源を生かして自由な発想で取り組む事業で、魅力と活気あふれる元気な町づくりに積極的に取り組むことができた。

料もある。

地方創生は国が費用の半分を負担し、地域が自らの資源を生かして自由な発想で取り組む事業で、魅力と活気あふれる元気な町づくりに積極的に取り組むことができた。

シジミ漁業の再生に向けて

町長

覆砂事業などで資源回復を強力に推進



まつおか 松岡
あきひろ 昭博

【松岡】シジミ漁獲量は、数年間隔で増減を繰り返しながら減少傾向にある。町はその理由をどのように考え、どのような改善対策に取り組んできたのか。

【町長】漁獲量減少の原因は、猛暑などによる気候の影響やアオコの発生による酸素不足だと分析している。これを基に漁協や県関係機関がシジミの資源回復に向けた調査・研究に入っている。

【松岡】シジミ漁獲目標値は計画策定の都度、減少しているが、町はシジミをどうしようとしているのか。

そして、改善対策の効



シジミ漁に勤しむ漁師

果をどのように考えているのか。

【町長】シジミは地域資源としてのポテンシャルが高く評価すべきものである。改善対策については、漁協や県関係機関で調査・検討されている。

【松岡】町はシジミ資源を増やすため、今後どのようなことが必要であると考え、どのような対策を実施しようとしているのか。

【町長】漁協を含め関係機関と連携し、水門操作基準の見直しの検討や覆砂事業、クリーンアップ事業などによる資源回復を強力に推進する。

温泉宿泊客17万人の達成に向けて

町長

町の魅力発信・関係人口の増加などに努める

【松岡】町は温泉宿泊客数の目標値として、以前から、17万人を掲げているが、達成できていない。今後どのようにして達成するのか。

【町長】「県立美術館のオープン」「大阪・関西万博」「ワールドマスターズゲームズ2027」などの機会をとらえ、町の魅力発信、関係人口の増加、新たな客層の開拓などに努める。

【松岡】目標達成に向け、宿泊目的別の目標人数の設定とそれを推進するための施策の創設など、次の一手を打っていかねばならないか。

【町長】現状で数値が入り手可能な分野に限り、宿



活性化が期待される湯梨浜町の温泉地

泊目的別に数値目標を設定できないか、検討してみたい。

【松岡】本町におけるインバウンド客はどのようなに推移し、インバウンド集客に向けてどのような戦略・対策をとっているのか。

【町長】「ゆうゆう・ゆりはま」のPR映像の多言語化や、SNSを使っている観光情報発信、町内事業者へのキャッシュレス決済導入支援など、様々な取り組みを行っている。

地域コミュニティの醸成を



よねだ つよみ
米田 強美

町長

自治会への加入促進を図る



食事・買い物・憩いの場
(交流センターゆるりん館)

【米田】2033年には日本の1世帯当たりの人数が1・99人と2人を下回り、今後は近親者がいない高齢者が急増するという推計が出た。介護だけでなく金銭管理などを含めたサポート体制を作ることが大切では。

【町長】既存の仕組みを活用し、身寄りのない単身高齢者を支えるための新たなニーズへの対応にも取り組んでいきたい。

【米田】光ケーブルを利用した、見守りサービスの提供について問う。

また、音声告知機設置の無料条件を問う。

【町長】現時点では見守

りサービスへ補助を行う予定はないが、必要に応じて対応したい。

また、音声告知機は、持家・借家にかかわらず1個までの設置で、かつ告知機能のみの場合であれば無料となる。

【米田】価値観の変化などにより自治会の活力低下が課題であるため、町からの働きかけも大切だと思う。加入を促進するチラシを作っては。

【町長】転入者などに自治会加入勧奨のチラシを配布し案内を行っている。今後も取り組みを継続し、自治会への加入促進を図っていく。

危険空き家の対策は

町長

引き続き除却を行う

【米田】特定空き家（危険空き家）を令和3年から5年間で、48件減の目標としているが、現状はどうか。

また、勧告を踏まえた指導を行った2件について、今後の工程を問う。

【町長】現状は、37件の除却を行っており、77%の進捗率である。

また、指導を行った2件については、勧告・命令を経て代執行という流れになるが、代執行に至らぬよう適切な管理を指導していく。

【米田】特定空き家の影響を受ける住人にとって、町がどのように判定しているか気になるところである。大まかにでも



早期の解体が望まれる危険空き家

判定基準を示してはどうか。

【町長】勧告基準については、個人のプライバシーに配慮しつつ、ホームページなどで公開する。

【米田】特定空き家を増やさない方策も大切である。解体した後、数年間の固定資産税の据え置きや、特定空き家に至らない空

き家への解体費用の補助を検討してはどうか。

【町長】固定資産税の軽減措置には課題もあり、もう少し状況を見たい。

また、空き家への解体補助は、令和7年度から30万円を上限とした支援制度を創設している。

米の生産・販売体制は

町長

JAが適切に指導している



信原 和裕

【信原】近年、農産物の生産・販売体制が遅れているが、その原因は、

また、町内の水田耕作者は何人で、年齢や収益などの状況はどうなっているのか。

【町長】JA営農指導員などが適切に指導されていると認識している。令和6年の水田耕作者は587人、平均年齢は令和2年時点で69歳。収益は把握していない。

【信原】昨年の夏頃から米や野菜などの品薄や高値が続いたが、今後の見通しはどうか。

【町長】国は、米の価格高騰への対策として備蓄



値下げが待たれる米売り場

米を放出する予定だが、市場の正常化は困難だという見通しもある。野菜は、高温などによる収量低下により供給不足となっている。

【信原】町内の農業者は高齢化が進んでおり、若くても60代で、70代や80代の農業者も多い。こういった現状に対してどのような対策を行っていくのか。

【町長】農作業の受委託や農地の有効利用を進めながら、新規就農者の確保や集落営農組織の育成など、担い手を中心とした地域農業を推進していく。

昇降リフトの使用をもっと便利に

町長

初心に立ち返り対応する

【信原】私がケガをした

後の令和6年5月に役場内の昇降リフトを使用しようとしたものの、故障のため使えなかった。それ以来、今日まで役場に登庁する際は、リフトを使用せず階段を昇降しており不便を感じている。

高齢者や足腰に不自由を抱える人の中には、階段を昇降するのが難しい場合もある。誰でも必要な時に昇降リフトを使用できるように整備すべきではないか。



誰もが使いやすい施設になることを願って（役場内昇降リフト）

【町長】今回のことを受けて、今一度初心に立ち返り、お困りの人への声かけをしていきたいと考えている。

そして、昇降リフトには「利用される方は職員に声をかけてください」という貼り紙をして対応する。今回の不調の原因

はバッテリー切れであったので、今後はバッテリーの点検、交換を定期的に行い対応したい。

今後は、職員全員で昇降リフトの使いづらさを解消できるよう頑張っていきたい。

給食費の無償化を

教育長

国の動向を注視し、的確に対応する



増井 久美

【増井】学校給食費の無償化についてはこれまでに何人かの議員も要望してきているが、町は無償化はせずに、物価高騰の影響による値上げ部分に對してのみ補助する形で今日まで来ている。しかし、無償化を行う自治体は増えてきている。物価高騰の中、給食費の無償化は大きな子育て支援になるのではないかと考える。現在の給食費の滞納状況や物価高騰の影響について問う。



一日も早い給食費の無償化を

度も国の交付金を活用して支援措置を継続する。給食費の無償化は、地方の財源に頼るのではなく、国が一律に行うべきであるため、国に働きかけている。本年2月に、小学校を念頭に令和8年度に実現するとの報道があった。国の動きを注視し、的確に対応したい。

【増井】米も高騰しているため、こども園の米飯給食も園で調理してはどうか。

【町長】現場の意見を聞き検討を進めているが、施設整備と人員不足などの課題があり難しい。

介護保険料などの引き下げを

町長

健康増進対策で負担を軽減

【増井】後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険事業特別会計の3つの特別会計の各保険料は町民、特に高齢者にとって大きな負担となっている。

特に介護保険料は年金から引かれるため、批判が大きい。さらに、マクロ経済スライドによる実質の年金の引き下げや物価高騰などの影響により高齢者の生活は大変である。

これら3つの特別会計の各保険料を引き下げることはできないのか。今後の見直しも含めて問う。

※マクロ経済スライド
物価や賃金の変化に応じて、年金が自動的に調整される仕組み。



後期高齢者医療広域連合事務所
(役場東郷支所内)

【町長】後期高齢者医療制度では、保険料の計算は県下一律で設定されているため、町独自で定めることはできない。介護保険制度は、給付と負担の関係が明確であり、保険料を下げるためには介護給付を縮減するしかない。

国民健康保険事業は、県が市町村と共に運営。町一般会計を活用した保険料の減免は、国保税率の上昇などのデメリットも多く、町独自の軽減策は考えていない。

健康増進や介護予防の推進で、保険料の負担軽減につなげたい。

町民インタビュー

「東郷湖一周コースの魅力をランナーの目線で伝えたい」

清水 聡 さん



今回の町民インタビューでは、東郷湖を一周するランニングイベントを企画された清水聡さんにインタビューしました。

清水さんにとって東郷湖はどのような場所ですか？

私は、田後に9年間、上浅津に35年間住んでいる根っからの湯梨浜町民です。そんな私にとって、東郷湖は身近な存在です。

走るようになった15年前からは、東郷湖の周りを一周することが鍛錬のひとつになりました。

春は藤津の桜の坂道に感動し、夏はしじみ漁のシャコシャコと小気味よい音を楽しみ、秋は松崎からの夕日に目を細め、冬は霧がかかった湖面の景色を楽しみながら走ってきました。

恐らくこれまでに300周くらいはしたと思います。それでも私は飽きずにその周りを走っています。

東郷湖がランニングをするのに優れている点はありますか？

ランニングを目的に県内のあちこちに行きましたが、東郷湖周辺の環境ほど恵まれたところを知りません。

風景はもちろんのこと、自動販売機、トイレも数キロに1つはあり、コンビニも2か所あります。なにより、信号機も横断歩道もないので、一度も足を止めることなく、ノーストレスで走れます。また、9割以上歩道が整備されているので、安全性が高いのも嬉しいです。

6月22日に、東郷湖を一周走るイベントを企画しました。これからも継続的に実施していこうと思うので、町民のみなさんも注目してくださいとありがたいです。

ありがとうございました。



議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

今回の議会(臨時会)は

7月17日(木)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

秋の収穫を楽しみに、梨の袋掛け、田植えなど、農作業も順調に進んでいます。

忙しい季節を迎えています。暑い季節を迎えていますが、暑さが増す中で、作業、熱中症には十分気をつけてください。

4月の町議会議員選挙後、翌日には当選証書付与式が行われ、決意を新たにしたところでありました。5月2日には臨時議会があり、新しい議会の体制が決まりました。

議会広報も新人議員を迎え、改選後初めての議会、だよりの編集。

町民の皆様は議会の内容を知ってもらうため、今まで以上に「分かりやすく」「読みやすく」編集してまいりますので、よろしくお祈りいたします。

(記 浜中)

【編集】

議会広報常任委員会